

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年11月19日  
派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	広島県三次市	代表者名	福岡 誠志
担当者部署	経営企画部	連絡先電話番号	0824-61-6106
担当者役職	係長	担当者氏名	宮本 香
住所	728-8501 広島県三次市十日市中二丁目8番1号		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 泰一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	これまでのご支援によって本市が作成した構想案に対し、専門的なご指摘に限らず、市民目線からのご意見もいただきました。また、データ利活用型スマートシティに関するご説明は非常にわかりやすく、また先進的に取り組んでいる自治体の現状と課題など、これから本市が検討していく際に有用な情報をご教示いただくことができました。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年11月18日	11時00分	12時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 副市長, 職員	人数 4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 三次版スマートシティ構想における重点項目の検討と、取り組む事業の研究。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	三次版スマートシティ構想における重点項目の確定。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	前回のご支援を元に作成した重点項目(取り組む分野)の案に対し、ご意見をいただきました。また、データ利活用型スマートシティに関するご知見をいただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	三次版スマートシティ構想における重点項目(取り組む分野)の案が概ね確定となった。(ご指摘により一部修正あり)	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	これまでのご支援で、三次版スマートシティ構想の構成と重点項目については概ね確定できたが、細かな内容については今後、市の中で作成していくため。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者において情報の共有と振り返りを行いました。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	年度内に市民に便利になったと実感していただけるような「ICTを活用した地域活性化事業」を記載したスマートシティ構想を策定する。	

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

### 1. 出席者リスト

副市長 堀川 亮  
経営企画部長 宮脇有子  
経営企画部情報政策課長 東山裕徳  
経営企画部情報政策課ICT活用推進係長 宮本 香  
以上、4人

### 2. 議事録

日時:2020年11月18日 10:00～11:00

会場:三次市役所本庁舎3階応接室

内容: (1)重点項目の決定に係るご意見について

(2)構想全体に係る注意点や情報のご提供について

記録:

事前にお渡ししたこの度ご支援いただきたい内容に基づき、進めていただきました。

(1) 重点項目の決定に係るご意見について

- ・市担当者（依頼内容の説明）
- ・井上様（依頼内容の確認）
- ・井上様 「3つ項目の分けとしては、サービスの提供者と受給者の関係だと理解した。その場合、「しごと」の項目は事業者ではなく

住民をターゲットと捉えた場合は違和感がある。住民共助というケースはここに入るが仕事ではない。」

- ・市担当者 「ご指摘のとおりと考えます。表現を修正するよう検討します。」

(2)構想全体に係る注意点や情報のご提供について

- ・市担当者（依頼内容の説明）
- ・井上様（依頼内容の確認）
- ・井上様 「スマートシティ＝QOLの向上と考えることができる。総務省の考えるデータ利活用型スマートシティのポイントはデータが複数の分野であることと、継続した取組が行える推進体制（自治体だけでない）かどうかである。」
- ・井上様（準備された資料を基に説明）
- ・市担当者 「都市間連携については構成イメージが想像できますが、分野間連携については事前に先行事例を調査したところ、具体例が見当たりません。これについてはいかがでしょうか。」
- ・井上様 「先行事例におけるこれまでの取組において、総務省が課題と捉えているのは正に都市間連携と分野間連携である。都市間連携に関しては、防災分野では河川の流域つながりでの連携や、近隣市町の避難所情報などの連携などが考えられる。

都市OS自体を複数市町で共有する手法もある（高松市は水位データ）。

分野間連携に関しては国内における事例は少ない。現在は海外の事例等も調査しているところ。